

2011～2012年度 R.I.テーマ
こころの中を見つめよう

博愛を広げるために

R.I.会長 カルヤン・バネルジー

事務所

飯田市常盤町商工会館2F

☎23-3430 FAX23-3433

URL:<http://www16.ocn.ne.jp/~rotary/iidarc/>

E-mail:iidarc@titan.ocn.ne.jp

例会日

毎週水曜日 PM12:30～13:30

例会場

シルクホテル ☎23-8383

会長 濱島光男 幹事 島中 實



会報

2011.7～2012.6 No.1
MONTHLY REPORT

7月号

見直そう、未来に向けて!



濱島会長御夫妻

あの愛はいまも変わりません、
ロータリーの心そのものですね。

島中幹事御夫妻

「すべては『家族』から始まる」
のRI会長のメッセージを
赤くなるほど実践しています。



「五平もちと私」

松村 一成

はじめまして。このたび飯田ロータリークラブに入会させていただきました村松です。私は、28年前に飯田に戻って来て、動物病院を開院しまして今に至っております。

3年ほど前からは飯田応援ネットイデア（NPO）に参加させていただき、地域起こしに関わる事もさせていただいています。特に、最近TVや新聞などマスコミで有名なB-1グランプリを使って地域起こしをしようと活動しています。

B-1グランプリに出そうとしていますのは、「五平もち」です。飯田地方の人間で、五平もちを知らない人は皆無と言っていいと思いますが、同じ長野県の内でも東へ北へ行くと知っている人がいなかったり、他県へ行けば、これ何？の世界なのです。

五平もちは、今から4～500年前に遠州と三河と信州の山あいでも生まれた食べ物です。広い地域に広がっていく過程で、神主の幣束の形をしたり、棒状になったり、丸く平べったくなったり、団子形になったり、色々な形が生まれました。また、味も赤味噌や麴味噌などご当地の味噌にくるみ、ごま、山椒などを入れた色々な味があります。串に関しても竹串、檜串、杉串など色々なものがあります。

仕事柄、海外のワイナリー（ぶどう園）を訪れることが、あります。

場所や国柄によって、その作付けはかなり異なりますが、総じて、高級

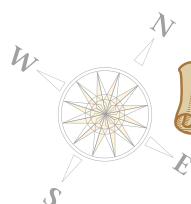
飯田の五平もちは、甘いくるみ味噌だれが一般的で、平たい丸形二つを竹串で刺す形が昔からの多くの人が食べていたものだと思います。昔は、どこの家でも春と秋の祭りには必ず自分の家で家の味を作って食べたものだと聞き及んでいます。

それで、私たちは「飯田五平もち楽会」なるものを立ち上げまして、県外に紹介するとき、特にB-1関係で出店するときは、この一般的な五平もちを持っていくことにしました。もちろん原点は、地域起こしです。地産地消の通り飯田のお米で、飯田の味噌で、飯田のくるみで、飯田の竹串を使うこと、そして色々なイベントに参加する度に飯田のパンフレットを配布し「リニアと人形の街飯田」をアピールすることを一番大事に考えております。

飯田のアピールの方法は、他にもたくさんあると思いますが、現在私たちは、この様な方法で、行政、民間、NPOの皆様を巻き込んで活動しております。ロータリー会員の皆様のご意見も聞かせていただきながら、更に押し進めていけたら幸いに思います。また、飯田ロータリークラブの一員として、粉骨砕身頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



トレッキング同好会



トレッキング同好会へのお誘い

加藤 仁 成

15年ほど前からなのではないでしょうか、私の入会する以前よりトレッキング同好会、という山歩きの会があります。しかし会則なし、会費なしメンバー不定という会ですので、開催ごとにできる会といってもいいのかもしれませんが。この会も2年前富士見町の入笠山に行って以来ご無沙汰しています。皆様お忙しかったり、コースに詳しい方が退会されたりいろいろ原因はありそうですが、定期的に行っていないとこうなってしまうのかなと思ったりしています。でも最近また行きましようという話を何度か耳にし、ガイドブックを広げたりしています。スポーツホルミシス、という言葉があります。ホルミシスというのはある程度すると体によく、過ぎると体に悪いという現象を言います。マラソンを走るというような過酷な運動は長い目で見たら体にいいはずはありません、トレッキングくらいが一番体にいいんです。どなたかすばらしいコースをご存知の方はご紹介ください、一緒に歩きましょう、いい空気を吸って少し汗をかきましょう。お待ちしております。



今年度第1号となるマンスリー7月号を皆様のご協力でお届けすることが出来ました。会長、幹事さんに無理を言ってツーショットの写真をお借りいたしました。ありがとうございました。
楽しい紙面にしていきたいと思っておりますので、型にはまらずどしどし記事・写真をお寄せ下さい。お待ちしております。
(7月号担当：あつし)